

火山噴火対策に関する最終報告のとりまとめ

平成26年9月27日の御嶽山の噴火を踏まえ、火山噴火予知連絡会 の下に二つの検討会を設置し、同検討会において火山の観測体制や情報提供について課題と改善策を検討し、最終報告をとりまとめた。

検討体制

文部省測地学審議会の建議（昭和48年6月29日）を受けて昭和49年6月に設置（事務局：気象庁）

火山観測体制等に関する検討会

- ・火山学者・専門家から構成。
- ・座長：清水洋 九州大学教授
- ・活火山の観測体制の強化策について検討。

火山情報の提供に関する検討会

- ・学識経験者、地方公共団体の首長、利用者代表等から構成。
- ・座長：藤井敏嗣 東京大学名誉教授
- ・登山者や旅行者等に対する火山活動に関する情報提供のあり方を検討。

これまでの経緯

平成26年
9月27日 御嶽山噴火
10月10日 検討会を設置することを発表
～11月28日 両検討会をそれぞれ3回開催
11月28日 検討会ごとに緊急提言をとりまとめ
12月 1日 火山防災対策推進ワーキンググループ（第1回）で緊急提言について報告

平成27年
～3月19日 両検討会をそれぞれ更に3回開催
3月26日 検討会ごとに最終報告をとりまとめ



御嶽山山頂北側（平成26年9月28日15時30分）
（陸上自衛隊の協力により上空の海拔約3,600mから撮影）